(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-183227
(P2004-183227A)
(43)公開日　平成16年7月2日(2004.7.2)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
E03C 1/22	E03C 1/22	C	
E03C 1/23	E03C 1/23	Z	
E03C 1/304	E03C 1/304		

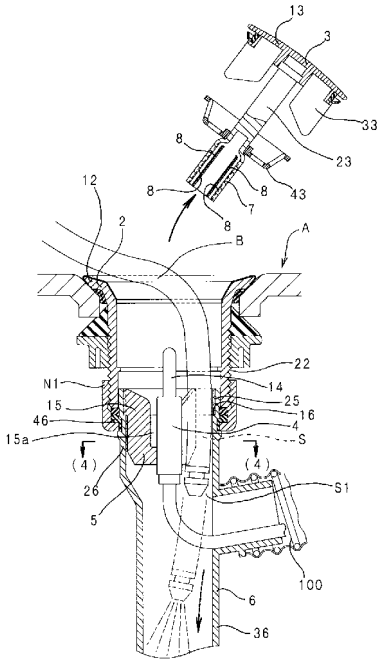
審査請求 未請求　請求項の数 1　ＯＬ　（全 5 頁）

(21)出願番号　特願2002-348077(P2002-348077)
(22)出願日　平成14年11月29日(2002.11.29)

(71)出願人　000203737
太田　育貴
三重県三重郡朝日町大字縄生２８００番地の３１
(74)代理人　100109955
弁理士　細井　貞行
(74)代理人　100090619
弁理士　長南　満輝男
(74)代理人　100111785
弁理士　石渡　英房
(72)発明者　伊藤　弘貴
三重県四日市市西富田町２０５－１

(54)【発明の名称】洗面器、流し等の排水構造

(57)【要約】
【課題】排水継手がその本体を拡径部を介して排水口部材に接続する排水構造において高圧洗浄ノズルを下方へと直線的に案内させるようにする。
【解決手段】排水口部材２に排水継手６を接続し、前記排水口部材２に排水栓３を抜き差し可能に設け、該排水栓３を上下動させる可動軸１４の支持部４を保持部５で保持し、該排水継手６が本体３６に排水口部材２に接続する拡径部２６を連設した構成であり、前記保持部５が排水口部材２内に排水空間Ｓを確保する支持リブ１５を備えた洗面器、流し等の排水構造において、拡径部２６に対してその本体３６を偏心させて、ある排水空間Ｓの直下に拡径部２６径から本体３６径に絞る絞り部を排除して高圧洗浄ノズルＢの直線導入用のスペースＳ１を確保する。
【選択図】図２



【特許請求の範囲】
【請求項１】
排水口部材に排水継手を接続し、前記排水口部材に排水栓を抜き差し可能に設け、該排水栓を上下動させる可動軸の支持部を保持部で保持し、該排水継手が本体に排水口部材に接続する拡径部を連設した構成であり、前記保持部が排水口部材内に排水空間を確保する支持リブを備えた洗面器、流し等の排水構造において、前記排水継手の拡径部に対してその本体を偏心させて排水空間から導入される高圧洗浄ノズルを下方へと直線的にガイドする直線導入用のスペースを形成していることを特徴とする洗面器、流し等の排水構造。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、接続されるトラップを床下配管に接続して排水経路を構成する洗面器、流し等の排水構造に関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
この種の洗面器、流し等の排水構造には、排水口部材に排水継手を接続し、前記排水口部材に排水栓を抜き差し可能に設け、該排水栓を上下動させる可動軸の支持部を前記排水口部材内または排水継手内に設けた保持部で保持し、該保持部が排水口部材内に、排水空間を確保する支持リブを有し、前記支持部に連絡するレリースで可動軸を押動することによって排水栓を上下動させて排水口を開閉する構成のものがある（例えば特許文献１）。
【０００３】
【特許文献１】
特開２００１－３４２６５８号公報（第３頁、第４頁、図１、図２）
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
前記特許文献１は、外径を３８ｍｍとする排水口部材に排水継手を接続する構造のため、外径を３２ｍｍとする排水継手で接続して、排水口部材と排水継手内には自ずと直線状の排水空間を連続形成している。
ちなみに、２０００年４月１日より施法された「住宅の品質確保の促進等に関する法律」により排水配管全長を高圧洗浄することが義務付けられるようになっている。この高圧洗浄は、高圧洗浄ノズルを排水配管全長にわたって導入しつつ高圧水を噴出して付着する汚物を剥離除去する。
特許文献１に開示されている排水構造は排水口部材と排水継手との支持部回りの支持リブ間で確保される排水空間直下に障害物が生じないため、排水栓を引き抜けば、排水空間から高圧洗浄ノズルを下方へと直線的に導くことができる。
ところで、例えば排水効率を向上させるべく外径を４７．８ｍｍとするインチハーフタイプと呼称される大形な排水口部材が使用されている洗髪機能付きの洗面器や大容量の洗面器等のように場合等では、それに接続される排水継手もそれに対応するように外径を３２ｍｍとする本体の上端に排水口部材に接続する拡径部を連設した構成になる。即ち、排水継手の本体の上端側に大径な排水口部材とのギャップを埋める拡径部をどうしても必要とする。
そのため、拡径部径から本体径に絞る排水継手のその絞り部が排水空間を通って挿入される高圧洗浄ノズルのそれ以上の導入を妨害する障害物として機能する現実に直面する。
【０００５】
本発明は上記従来事情に鑑みてなされたもので、その目的とする処は、排水継手がその本体を拡径部を介して排水口部材に接続する排水構造において高圧洗浄ノズルを下方へと直線的に案内させるようにすることである。
【０００６】
【課題を解決するための手段】
上記目的を解決するために講じた技術的手段は、排水口部材に排水継手を接続し、前記排

水口部材に排水栓を抜き差し可能に設け、該排水栓を上下動させる可動軸の支持部を保持部で保持し、該排水継手が本体に排水口部材に接続する拡径部を連設した構成であり、前記保持部が排水口部材内に排水空間を確保する支持リブを備えた洗面器、流し等の排水構造において、前記排水継手の拡径部に対してその本体を偏心させて排水空間から導入される高圧洗浄ノズルを下方へと直線的にガイドする直線導入用のスペースを形成していることを特徴とする洗面器、流し等の排水構造である（請求項１）。
前記手段では、拡径部に対してその本体を偏心させて、ある排水空間直下に拡径部径から本体径に絞る絞り部を排除して高圧洗浄ノズルの直線導入用のスペースを確保する。
【０００７】
次に、本発明の実施の形態を説明する。
図面は、本発明の洗面器の排水構造の一実施の形態を示し、符号Ａがその排水構造である。
この排水構造Ａは、槽底に開口した排水口１に掛止する排水口部材２を開閉する排水栓３、その排水栓３をレリースＬの力を借りて上下動させる可動軸１４の支持部４、その支持部４を保持する保持部５、排水口部材２に接続される排水継手６、固定金具類から構成されている。
【０００８】
排水口部材２は、本実施の形態では洗髪機能付きの洗面器対応の外径を４７．８ｍｍとするインチハーフタイプのものを使用し、上端の掛止鍔１２と、外周の螺子２２に螺嵌するナット（固定金具）Ｎとで槽底を挟持して取り付けられている。
【０００９】
排水栓３は、排水口部材２を開閉する栓蓋１３から支軸２３を垂設し、その栓蓋１３裏側に振れ止め羽根３３を設けると共に、中途部分にヘアーキャッチャー４３を同軸状に支持し、前記支持部４に外嵌挿する案内体７をその支軸２３から垂設し、その案内体７の底部を支持部４で上下動可能に支持された可動軸１４で間接的に押動される構成になっている。
【００１０】
前記支持部４は両端を閉塞した筒体であり、排水継手６の中途部に連絡するオーバーフロー管１００内に配線されたレリースＬの下端が接続され、そのレリースＬで上下動可能に支持される可動軸１４を押動して前記支軸２３を上下動させて排水口部材２の開放部を開閉するようになっている。
【００１１】
前記保持部５は、支持部４から水平方向放射状に延設した支持リブ１５の遊端に外輪板２５を連設して構成されており、その支持リブ１５、１５間を排水空間Ｓとし、また接続継手６の上端側の内面に段設した凹段面１６にその外輪板２５を係止して排水栓３直下に設置されている。
【００１２】
排水継手６は、内部に前記する保持部５を設置する拡径部２６から本体３６を連設した構成になっており、本体３６は外径を３２ｍｍとし、本体３６とインチハーフタイプの排水口部材２との径のギャップを埋める拡径部２６の上端近傍位置に係止した鍔部４６に係止して、袋ナット（固定金具）Ｎ１を排水口部材２外周の前記螺子２２に螺嵌することによって、槽底に取り付けられている。
【００１３】
また、排水継手６は、拡径部２６に対してその本体３６を偏心させて、ある排水空間Ｓ直下に拡径部２６径から本体３６径に絞る絞り部を排除して後述する高圧洗浄ノズルＢの直線導入用のスペースＳ１を形成している。
この直線導入用のスペースＳ１は、排水栓３を引抜いた後、同スペースＳ１真上の排水空間Ｓから挿入される高圧洗浄ノズルＢを下方へと直線的に導入するのに機能させるものである。
【００１４】

以上のように構成された排水構造Ａでは、ある排水空間Ｓの直下に確保された直線導入用のスペースＳ１から高圧洗浄ノズルＢをトラップが接続される床下配管まで進入させて、排水配管の高圧洗浄を義務付ける２０００年４月１日より施法された「住宅の品質確保の促進等に関する法律」を遵守することができる。

【００１５】

尚、符号８は、前記案内体７の内面に突設され排水口部材２の開閉時に支持部４の外面に線接触で摺接させる線状突条であり、軸線方向に適宜間隔をおいて設けてある。

前記案内体７は、排水口部材２の開閉双方時共に案内体７の支持部４への外嵌挿状態を維持する長さに形成し、可動軸１４の摺動部をその案内体７でカバーして洗剤や砂等の汚物が摺動部から支持部４内に進入することを防止して、作動不良を回避すると共に、その案内体７のほぼ全長に亘って突設された線状突条８の存在によって案内体７内面と支持部４外面との間に表面張力を発生させない常時一定寸法の摺動用のクリアランスを生成し、閉栓時に案内体７と支持部４との間の残留空気を抵抗なく逃がして確実に閉栓し、且つ線接触によって軽い操作で排水口部材２の開放部を開閉することができるようになっている。また、符号１５ａは案内体７との干渉を回避する凹部で支持リブに形成していある。

【００１６】

【発明の効果】

本発明は以上のように排水継手の拡径部に対してその本体を偏心させた構成なので、大径な排水口部材に接続されるべく拡径部を連設した排水継手を使用していながら、保持部回りの排水空間直下に高圧洗浄ノズルを抵抗なく下方へとガイドする直線導入用のスペースを形成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本実施の形態排水構造の正面図で断面して示す。

【図２】同断面図で、排水栓を抜き取った状態を示す。

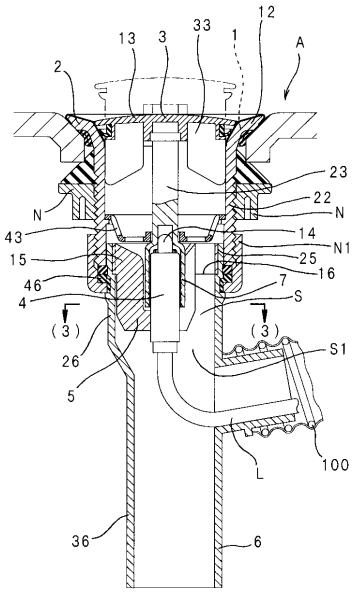
【図３】図１の（３）－（３）線拡大断面図。

【図４】図２の（４）－（４）線拡大断面図。

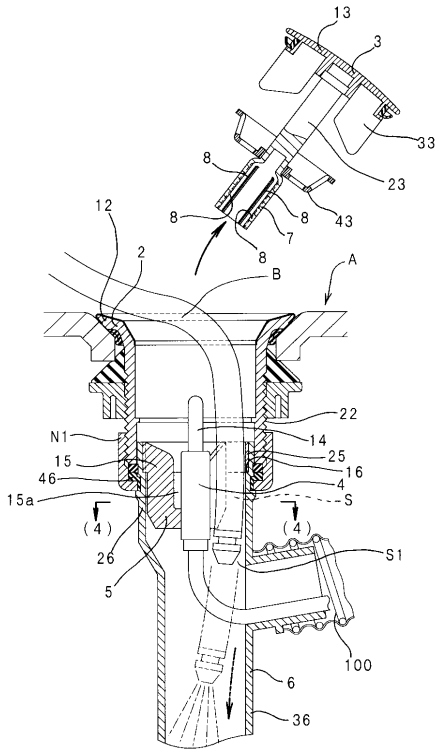
【符号の説明】

Ａ：排水構造
２：排水口部材
６：排水継手
３：排水栓
４：支持部
１４：可動軸
２６：拡径部
３６：本体
５：保持部
Ｓ：排水空間
Ｂ：高圧洗浄ノズル
Ｓ１：直線導入用のスペース
１：排水口
７：案内体
８：線状突条

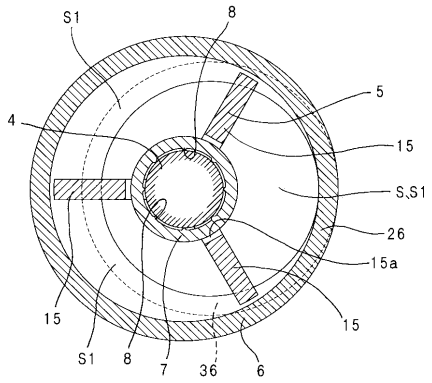
【図１】


12
13
3
33
1
A
2
23
22
N
N
43
14
N1
15
25
16
46
7
4
S
(3)
(3)
26
S1
5
100
L
36
6

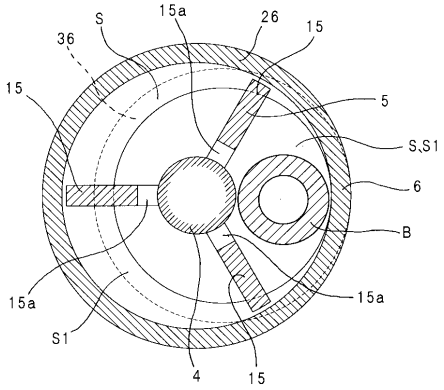
【図２】


13
3
33
8
23
8
8
43
7
12
8
2
B
A
22
N1
14
15
25
16
46
4
15a
S
(4)
(4)
26
S1
5
100
6
36

【図３】


S1
8
5
4
15
S,S1
26
15a
15
15
S1
8
7
36
6

【図４】


S
15a
26
15
36
15
5
S,S1
6
B
15a
15a
S1
4
15